



沖縄県 令和6年度 超高齢社会に対応する公共私連携に関する万国津梁会議

【資料2】 サービスモデル調査等業務の実施状況

高齢者の生活課題の解決に向けた官民連携ワーキンググループ

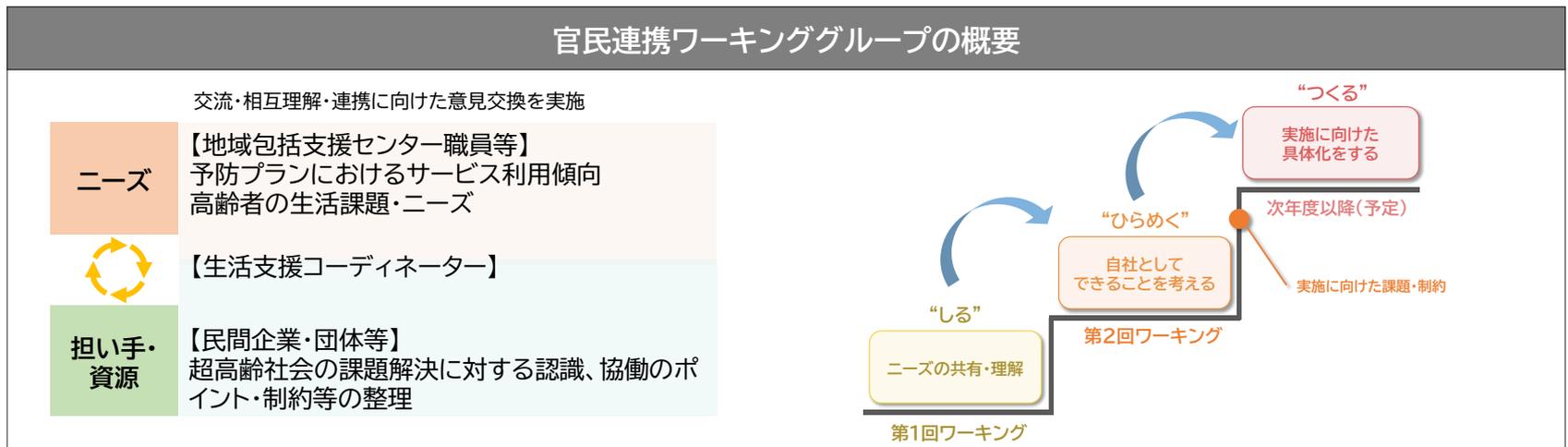
■ 目的

高齢者のニーズや地域課題に詳しい地域包括支援センター職員や生活支援コーディネーターと民間企業が一堂に会し、意見交換を通してボトムアップ的に高齢者の生活課題の解決に向けた連携方策や課題等を検討する。

ワーキングを通して検討された取組アイデア等の一部は、内容に応じて次年度以降に具体的なスキームの検討を予定する。

■ スケジュール

令和6年度に2回実施(第1回:11/26、第2回:1/22)



高齢者の生活課題に関する具体的なニーズの共有
民間企業等との連携による取組アイデアの検討
取組の実践に向けた課題や制約の整理

開催概要(第2回:1/22)

第2回プログラム

14:00	開会
	趣旨説明等(15分)
第1ターム	参加企業による取組アイデアの紹介(45分)
	ブースに分かれて意見交換(45分)
第2ターム	参加企業による取組アイデアの紹介(45分)
	ブースに分かれて意見交換(45分)
	まとめ・今後について(10分)
17:30頃	終了/交流タイム

第2回ワーキング 参加者

市町村・地域包括支援センター・生活支援コーディネーター(SC)

計28名

- 糸満市介護長寿課
- 浦添市いきいき高齢支援課
- うるま市地域包括支援センター具志川にし
- 大宜味村地域包括支援センター
- 沖縄県介護保険広域連合
- 沖縄市社会福祉協議会
- 沖縄市介護保険課
- 北中城村地域包括支援センター
- 北中城村社会福祉協議会
- 北中城村福祉課
- 宜野湾市介護長寿課
- 竹富町福祉支援課・地域包括支援センター
- 多良間村地域包括支援センター
- 豊見城市障がい長寿課
- 豊見城市地域包括支援センターとよみの杜
- 名護市介護長寿課
- 那覇市地域包括支援センター安里
- 那覇市地域包括支援センター繁多川
- 那覇市那覇社会福祉協議会 地域福祉課
- 南風原町地域包括支援センター
- 南風原町社会福祉法人千尋会嬉の里
- 宮古島市高齢者支援課

企業等

計16名

- 沖縄ヤマト運輸株式会社
- 日本郵便株式会社 沖縄支社
- 株式会社hareruya
- 株式会社ファンファーレ・ジャパン
- 合同会社SUNJU
- 生活協同組合コープおきなわ
- 特定非営利活動法人グランアーク
- 株式会社 フィットネスプロモーション
- 沖東交通事業協同組合
- 株式会社office双葉

商業・飲食施設、運動・温浴施設、農場、コミュニティサロン、家事代行、清掃、同行、運輸、運送、コミュニティメディアなど多様な企業が参加

+オブザーバー
(関係企業等)

第2回ワーキングの目標

第2回の内容

- 第1回ワーキングにおける地域包括支援センター職員等との意見交換を通して得た気づきを踏まえ、企業としての取組アイデアを紹介
- 各企業のブースにて、取組アイデアのブラッシュアップに向けた意見交換を実施

目指すゴール

取組アイデアを紹介いただく企業の方

- 取組アイデアの有効性・妥当性を確認できる
- 取組アイデアを具体化するためのヒントが得られる

自治体・地域包括等の方

- 企業が有するリソースや課題意識を確認できる
- 企業との連携イメージが膨らむ

事務局

- 取組アイデアを実現するための制約や必要な支援を確認できる

交流を通してつながりができる



企業の取組アイデアに対する意見交換の視点

視点① ホームヘルプやデイサービスの機能を代替し得るか？

- ✓ 元気な人だけでなく、フレイルや要支援の人が利用できそうか
- ✓ 現在ホームヘルプやデイサービスが提供している機能の一部を代替するか
 - 【ホームヘルプの機能】
 - ・見守り、掃除、洗濯、ベッドメイク、食事、調理、買い物 等
 - 【デイサービスの機能】
 - ・運動、交流、アクティビティ、入浴、食事、（移動） 等

視点② 高齢者の社会参加・介護予防に資する内容であるか？

- ✓ 取組によって高齢者の介護予防や社会参加が促進されるか
- ✓ 取組の担い手（働き手）として高齢者が参画する可能性はあるか

視点③ 実現性・持続可能性は見込まれるか？

- ✓ 高齢者に受け入れられる内容であるか（費用面、内容面）
- ✓ 取組の担い手や連携先は想定できるか
- ✓ 市町村や地域包括等とどのような連携を行うことができそうか
- ✓ 広域的な展開ができそうか、あるいは地域を限定した取組であるか



取組アイデアと意見交換

参加企業からの取組アイデアの例

- ・ボランティアと連携した緊急時の駆けつけサービス
- ・見守り・安否確認を兼ねた家庭ごみのゴミ出し支援サービス
- ・ジムにおける要支援の人等を対象としたプログラムの開発
- ・スーパーでの要支援者等に対する買い物サポート
- ・スーパーにおける高齢者の短時間雇用の拡大
- ・ネットスーパーやコンビニと連携した買い物支援(配達支援)
- ・自費による生活支援サービスの充実化(最低利用時間や営業時間の見直し)
- ・通いの場等と連携した移動販売の展開
- ・ネットスーパーの対象地域の拡大と操作性の向上
- ・民間企業の共同運営による移動支援
- ・生活に役立つ各種サービスの仲介サービス
- ・これから高齢者になる世代に対する啓発のためのメディア作成 / 等

制約・必要な支援の例

- ・個人情報の取扱・共有に関する枠組みの必要性
- ・要支援高齢者の店舗利用に必要なサポートに関する知見
- ・お試しクーポンや割引券などの導入支援
- ・経済的に困窮している人の利用支援
- ・取組に参画するボランティア人材の確保
- ・ケアマネジャー等を通じた対象者へのサービスの周知支援
- ・店舗や施設への移動手段の確保
- ・高齢者のインターネット利用のサポート・ネット環境整備
- ・自社では難しい部分に対する他企業等との連携・マッチング
- ・官民共同で実施するための第三セクターの設立 / 等



市町村、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター等

- ・高齢者の具体的な生活状況・生活課題の説明
- ・より高齢者に役立つ(利用される)ための工夫の提案
- ・企業に対する具体的な期待・提案
- ・行政との連携スキームの提案 / 等

ワーキングを通して、企業と市町村・地域包括支援センター等が直接つながり、個別の問い合わせや連携の相談などが複数生じている状況を確認



第2回ワーキングの様子



開会の様子



参加企業からの取組アイデアの紹介



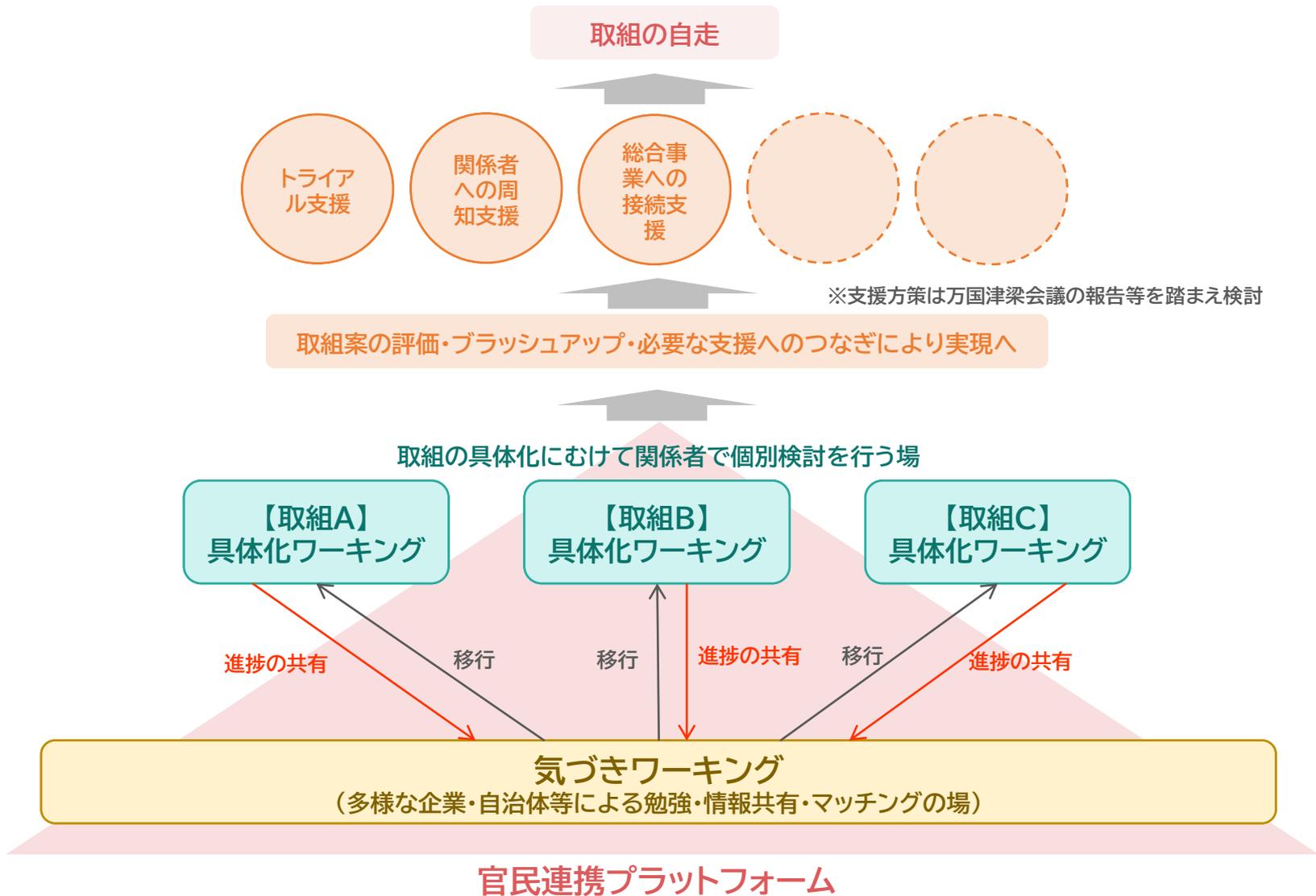
各企業ブースでの意見交換①



各企業ブースでの意見交換②



官民連携プラットフォーム: 今後のイメージ



参加企業とのコミュニケーションの継続

①第2回ワーキングでの意見等を還元

- ・ 市町村職員、地域包括支援センター職員、生活支援コーディネーター等が、取組アイデアに対する感想やコメントを記入した「気づきメモ」の内容を企業ごとに整理し企業へ還元
- ・ 上記コメントや全国の事例を踏まえ、参加企業を想定したサービスモデル例を事務局より提示

②今後に向けた意向確認

面談を予定

- ・ 今後の取組の具体化に対する意向の確認
- ・ ①を踏まえた取組アイデアの改善方策の検討
- ・ 具体化に必要な支援の確認

③具体的な検討の開始

- ・ ②を踏まえて具体化を進める取組は「具体化ワーキング」に移行
- ・ 「気づきワーキング」は希望に応じて誰もが参加可能